

市の出前講座を活用し、依知地域で「まちづくりを考えるつどい」

9月27日(日)、依知南公民館で「すみよい厚木のまちづくりを考える会」の主催する「厚木のまちづくりを考えるつどい」が開かれました。

同会は、厚木のまちづくりをどうしていくかについて、年に2回程度、公民館等を利用して、まちづくりのつどいを開いています。

今回のつどいは、厚木市職員が市の施策等について説明する無料の出前講座を依頼したものです。内容は「依知地域のまちづくり計画について」です。

- ①「あつぎ元気プラン」第2期基本計画の依知地域計画について(企画政策課)
- ②防災公園の具体的計画について(まちづくり推進課)
- ③デマンド交通(地域の交通手段)について(広域政策課)



資料を示しながら、わかりやすく説明する市職員

今週の活動から



総合福祉センターを(仮称)保健福祉センターとして整備するための工事契約が今議会に提案されています。本体工事は2億5194万円、空調・衛生工事は3億8415万円です。議会に上程されるのは1億5

千万円以上の工事ですから、電気工事の1億554万円を合わせ整備工事全体では7億4164万円です。工期は平成28年10月31日までです。地下駐車場は、主に障害者の利用となります。1階には重度障害者のオムツ替えができるサニタールームも整備されます。(上:総合福祉センター前にて釘丸久子議員)

平成26年度に「都市サイン計画事業」が行われました。本厚木駅前やバスセンター前など4か所に地図案内板、通り名と駅までの距離を示した路面標示115か所などを設置したものです。9月29日の都市経済常任委員会の決



算審査で、案内板や路面表示の維持管理について質疑しました。案内板の変更は、広告料で賄う契約になっています。

(下:バスセンター前案内表示板の前で栗山香代子議員)

「厚木市生涯学習出前講座」を活用しましょう

厚木市は、市民が企画する研修会などに市の職員が出向いて、市の施策等について話す「出前講座」を行っています。メニューは、健康・福祉、まちづくり、防災、施設案内等、多数あります。希望により、それ以外も可能ですので、相談しましょう。(裏面参照)

利用できるのは、原則として市内に在住、在勤、在学している概ね10人以上で構成された団体・グループ等です。

講座時間は、午前9時から午後9時までの間で、原則2時間以内。講師料は無料です。

研修会を開催しようとする日の30日前までに、申込書を文化生涯学習課へ直接または郵送、FAXのいずれかにより提出します。日程等は、担当課と調整します。

その他、次のことを注意事項としています。

- ①講座の時間は決定した時間内で終るようすること。
- ②その場で説明できない内容があることもあります。
- ③この講座は、市役所職員が担当する業務の説明などを行うことを主な目的としています。苦情を受ける場ではありませんので、主催する側は注意しましょう。

市の施策を知って、私たちの生活を豊かにしよう

文化生涯学習課 (Tel: 225-2512 FAX: 225-3130)

- ④買物難民対策について(商業にぎわい課)
- ⑤旧依知公民館の今後の活用計画について(企画政策課)
- ⑥国道129号線混雑による、市道への車両進入による渋滞の解消について(国道調整課)

参加者は依知地域在住が多く説明後の質疑応答では、市への質問や要望などが多く出されました。予定の2時間を越えての活発なつどいとなり、時間が足りなくて質問できない人もいました。

議員団は既に議会として資料を受け、説明をされていますが、職員の説明はわかりやすく、改めて事業等の再確認ができました。

同時に、今回説明のあった計画や政策、事業など初めて知る市民がほとんどであるということがわかり、周知の必要性も強く感じたとです。

会では内容について10月中旬をめどに、会のニュース及びホームページに掲載するとのことです。